

その一ページの背景に 九年間の学びの連なり

中学校

1年

学習の見通しをもとう

2年

学習の見通しをもとう

3年

小学校

2年

3年

4年

5年

6年

中学校へつなげよう

中学校では「学習の見通しをもとう」でそれぞれの
教材でつけていく力を生徒自身が確認することができる。

小学校では、各学年の「学習を見わたそう」でつけたい力を確認する。
そして、「中学校へつなげよう」で円滑に中学校につながっていく。

光村図書の教科書は、
生徒たちに確かな学力がつくこと、
そして、小学校と中学校の
円滑な連携を図ることを考えて
構成されています。

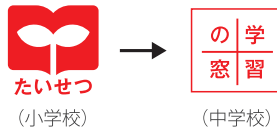
小・中学校の学習が
スムーズにつながり、
より確かな力が培われていく。

光村図書の教科書は、小学校入学か
ら中学校卒業までの九年間で身につけ
る力を見据えたうえで、各学年の学び
が構成されています。

また、一貫した編集方針のもと、学
習の連携を図る工夫も随所に。たとえ
ば国語では、学習のポイントを解説す

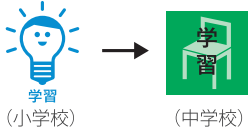
る「たいせつ（小学校）」が、中学校
では「学習の窓」として登場。小学校
の手引き「学習」で学び、ついた力は、
中学校の「学習」につながり、より確か
な力となって蓄積されます。九年間を
通して学びを繰り返すことで、しっか
りとした基礎が築かれ、揺るぎない学
力が身につきます。

◎「たいせつ」から「学習の窓」へ



身につけたい力のポイントがはっきり
伝わるように、「たいせつ（小学校）」
と「学習の窓（中学校）」を設定してい
ます。

◎学習の手引き



学習の目標と振り返りを示し、ス
タートからゴールまでを見通して
学ぶことができるように小学校と
中学校で構造を工夫しています。

古今東西の書物から ここに響く教材を探せ

光村図書の教科書にのせる教材は、編集部と編集委員一人一人が、ありとあらゆるところにアンテナを立て、吟味を重ねてきました。二〇〇〇冊以上の文献から選り抜かれています。

あらゆるジャンル、膨大な数の文献の中から、教材探しを行う光村図書の国語編集部

二〇〇〇冊以上の文献から、
吟味した一編一句。

光村図書の教科書づくりは、編集委員と編集部員が総出で行う教材探しから始まります。たとえば国語なら、一人の編集者が当然のように百冊、二百冊と当たっていきます。付箋と文字数を数えるための計算機を片手に、図書館の閲覧室へ。数十年前も子どもたちに必要な教材を選び続けたプロの目で、一編、一句が吟味されていく。卒業してもこころの奥に残るような教科書は、こうしたプロセスから生まれてきます。



一流にふれて 一生ものの感性を磨く

すべての教科で、本物にふれることにこだわる、光村図書。
一流といわれる文字や絵、文学作品は、子どもたちの感性を刺激し、
一生の財産になると考えています。

豊かな感性を育むために。
徹底して本物にこだわる。

中学校の三年間は、さまざまな世界の本物に出会うことで、豊かな感性を育む三年間であってほしい。光村図書は、そんな願いを教材を構成するひとつひとつの要素に注ぎ込んでいます。たとえば書写の教科書では、書家が何枚も、何枚も書いた中から、「美」の規範となりうる選りすぐりの一枚を掲載。それも、無数の基礎を積み重ねて、自由にも大胆にも表現できる書家が、あえて基礎に徹して書いたものを選んでいます。「目習い」という言葉があるように、一流の文字にふれ、「こんなふうに書きたい」と憧れることが、美しく整った文字への第一歩と考えているからです。



まず文字の原理・原則を学んでから、構造を理解して書くことで、基礎を身につける構成。



大胆な筆さばきを支えるのは、
無数の基礎の積み重ね。